

一般貴重書保存事業

平成25年度から引き続き一橋大学後援会より奨学寄付金の助成を受け、一般貴重書の保存修復作業を行っている。ここで一般貴重書と呼んでいるのは、1850年以前に刊行された洋図書で、一橋大学で購入した貴重書と、佐野、村瀬、上田、Lexis、青山、良知、三浦、Möller、外池、中山、竹下、大塚、村瀬、小場瀬、藤井、石原、山内、鳴海等の文庫に所属する図書のうちから原則として1850年以前に刊行された図書を抽出したものの総称である。建学の最初期から収集されてきた資料を含むコレクションであり、内容は本学の長年にわたる学問研究の歴史的蓄積を反映して社会科学、人文科学の極めて広い範囲に及ぶ。「一般貴重書」は経年による革材や製本構造の劣化、関東大震災や戦時中の疎開など数度の移動によるダメージ、過去大量に日本で行われた再製本材料の酸性劣化など、長期保存上の多くの問題を抱えている。また、収集の経緯が様々であることを反映して、劣化状態が一様でないことが特徴である。そのため、資料個々の状態を悉皆的な調査によって個別に把握し、適切な保存措置をとることが、今後の長期的保存を図る上で喫緊の課題である。こうした保存修復作業は、製本家・書籍修復家からの指導を受けながら、センター内に設置されている貴重書保存修復工房のスタッフにより行われている。

ひらめき☆ときめきサイエンス

平成24年度から毎年行ってきた中・高校生向けセミナー「ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI」（日本学術振興会助成事業）を本年も実施した。実施代表者は山崎耕一・センター特任教授。開催日は7月20日（月祝）。「本を残す 本を伝える－書籍の保存と修復」と題して、図書資料の保存と修復に関する啓蒙活動を行った。当日は、中学生4人、高校生5人、付添者3人のあわせて12人が、朝10時から、社会科学古典資料センター書庫および隣接する附属図書館を見学し、その後、昼食をはさんで、センター貴重書保存修復工房スタッフの指導による保存箱の作成や製本実習、ページ修理の実習など、午後4時の修了式までさまざまな演習に参加した。

第16回西洋古典資料保存講習会

下記の内容で、7月1日（水）から7月3日（金）まで3日間開催し、全国の国公私立大学図書館等から10名が参加して、実習を中心に行った。

1. 保存計画のための材料と環境 増田勝彦（昭和女子大学非常勤講師）
2. 劣化調査と保存計画 増田勝彦
3. 災害から資料を守り、救うために
眞野節雄（日本図書館協会資料保存委員会委員長）
4. 資料保存と製本構造、調査票の記入・活用、本のクリーニング、革装本の手入れ、書見台の製作、保存製本、保護ジャケットの製作、修理用和紙の染色、ページ修理の基礎、見返し・表紙角の修理、封筒フォルダーの製作、保存箱の制作
岡本幸治（製本家・書籍修復家）

第 35 回西洋社会科学古典資料講習会

下記の内容で、11月18日（水）から11月20日（金）まで3日間開催し、全国の国公私立大学図書館・専門図書館等から25名が参加した。

古典研究

- (1) 論争から見るドイツ社会思想史 — 18世紀ドイツの3つの論争から「言論の自由」を考える
佐山圭司（北海道教育大学准教授）
- (2) フランス啓蒙思想をめぐって
山崎耕一（一橋大学社会科学古典資料センター特任教授）
- (3) 思想史研究の方法 — 18世紀スコットランド啓蒙研究を例に
福田名津子（一橋大学附属図書館研究開発室専門助手）

書誌学

- (1) 記述書誌を“読む”面白さ — 図書館員のための書誌学入門
武者小路信和（大東文化大学文学部准教授）
- (2) 東北大学貴重図書発掘 — 漱石、ゼッケル、ケーベル、チーテルマン文庫
小川知幸（東北大学学術資源研究公開センター助教）
- (3) 西洋古典資料の目録作成
床井啓太郎（一橋大学社会科学古典資料センター専門助手）
- (4) 目録作成実習
福島知己（一橋大学社会科学古典資料センター専門助手）

保存・修復

- (1) 環境と材料 — 紙資料の保存
増田勝彦（昭和女子大学光葉博物館顧問）
- (2) 西洋古典資料の調査票について
岡本幸治（製本家・書籍修復家）

社会科学古典資料センター見学（書庫・所蔵資料・貴重書保存修復工房）

日誌（2015年1月～12月）

- 3月31日 一橋大学社会科学古典資料センター年報 第35号発行
3月31日 Study Series No. 70：森宜人監訳「カール・ランプレヒト『中世におけるドイツの経済生活 — 「結語」 —』」発行
3月31日 Study Series No. 71：喜多見洋「ピエール・プレヴォの経済思想」発行
5月16日 第10回一橋大学ホームカミングデー記念展示
5月29日 第16回社会科学古典資料センター専門委員会
議題：1 平成26年度決算報告について
2 平成27年度事業計画について
3 平成27年度「ひらめき☆ときめきサイエンス」の実施について

4 平成 26 年度事業報告について

5 平成 26 年度科学研究費助成事業について

7 月 1 日～3 日 第 16 回西洋古典資料保存講習会 開催

7 月 20 日 ひらめき☆ときめきサイエンス「本を残す 本を伝える 一書籍の保存と修復」開催

8 月 3 日 2015 オープンキャンパス特別資料展示

11 月 18 日～20 日 第 35 回西洋社会科学古典資料講習会開催

利用状況（2015 年 1 月～12 月）

開館日数 228 日

来館者数 65 人

（学内）25 人

（学外）40 人

利用冊数 144 冊

文献複写申込受理件数 34 件

複写冊数 38 冊

見学者数 122 人